

# off-line HDFと on-line HDFの 体験・感想比較

医療法人社団スマイル博愛クリニック 人工透析室

○山下鈴加 玉置貴志 松下剛史

三宅良尚 平賀敦司 山平満浩

吉田賢治 松見勉 高杉敬久



## はじめに

以前より多くの施設でon-line HDFが行われ、血液データでの有効性に関する報告がされている。だが、実際の声による報告はなかったように思われる。

今年、当院もon-line HDFに移行した。そこで、患者様とスタッフはどのように感じているのかと興味を持ちアンケートを行ったので報告する。



# 方法

off-line HDFからon-line HDFに移行した患者様を対象に、治療に対する思いと両者の比較という内容で聞き取りアンケートを実施。またスタッフにもアンケートを行う。

## 患者様

対象者20名（男性11名、女性9名）

平均年齢57.8歳±11.24

平均透析歴25年10ヶ月±8年5ヶ月

## スタッフ

対象者15名（看護師6名、臨床工学技士9名）

平均経験年数11年2ヶ月±7年2ヶ月

## 使用コンソール

JMS社製 GC-110N



# 結果① 患者様のアンケート

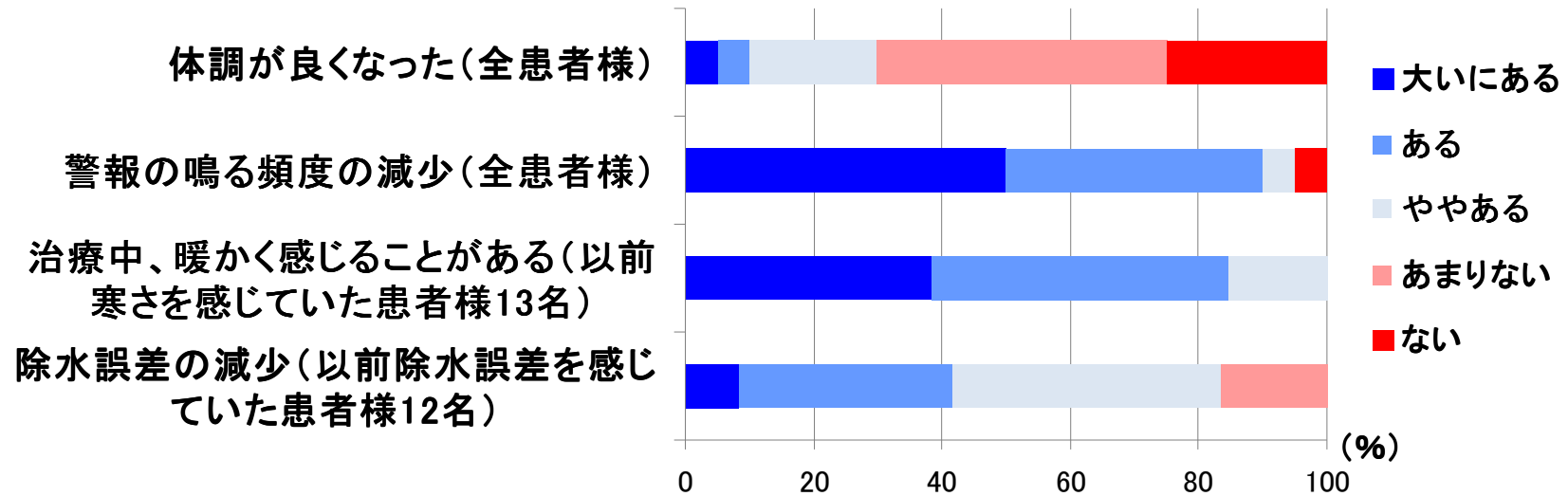


図1 off-line HDF on-line HDFの比較(患者様)

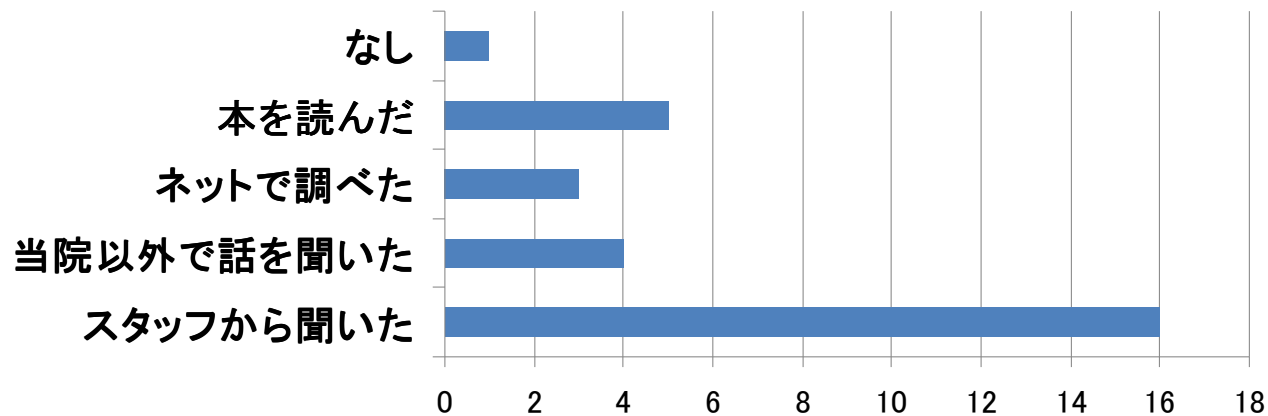


図2 患者様の情報入手方法



## 結果② スタッフのアンケート

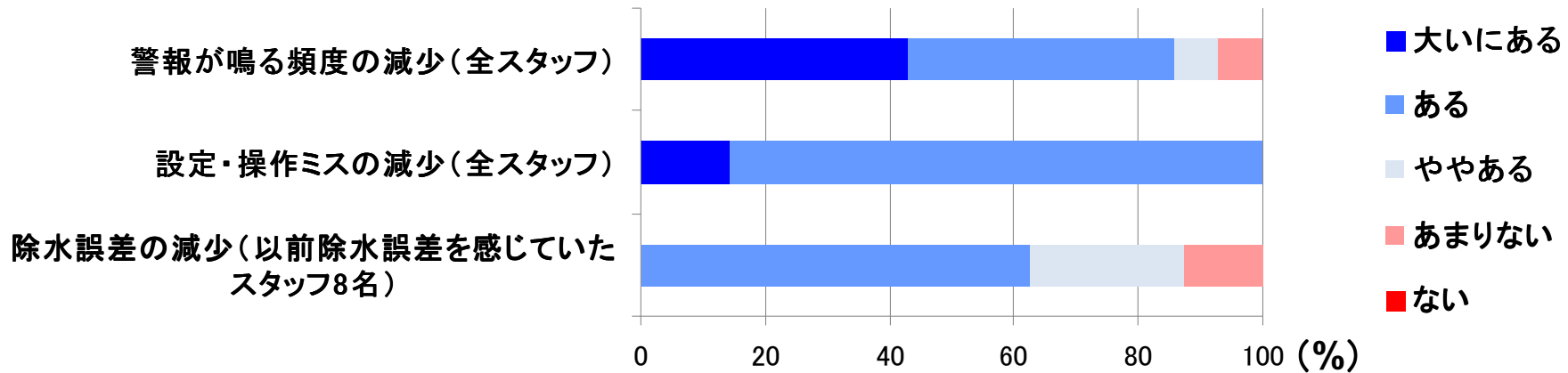


図3 off-line HDF とon-line HDFの比較①(スタッフ)

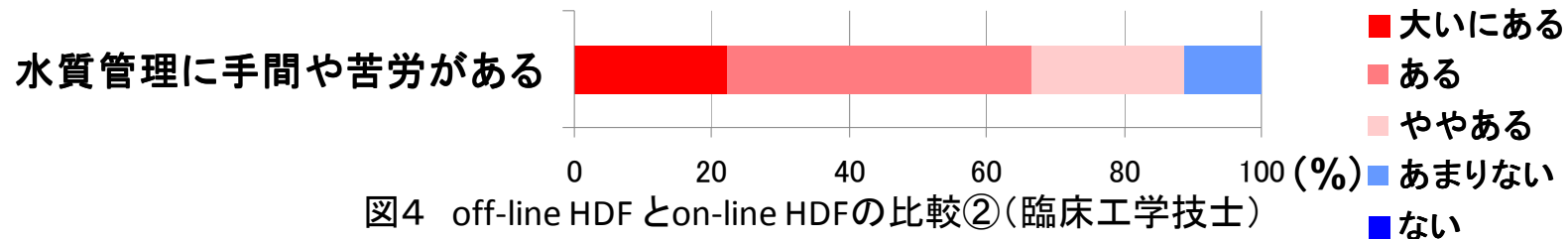


図4 off-line HDF とon-line HDFの比較②(臨床工学技士)

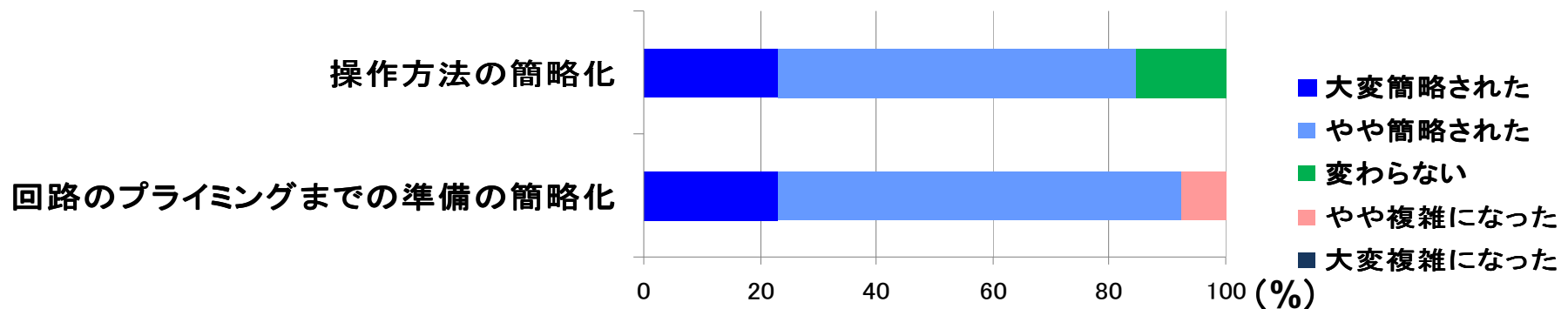


図5 準備・操作方法の比較(スタッフ)



## 結果③ 移行前の治療に対する不安感

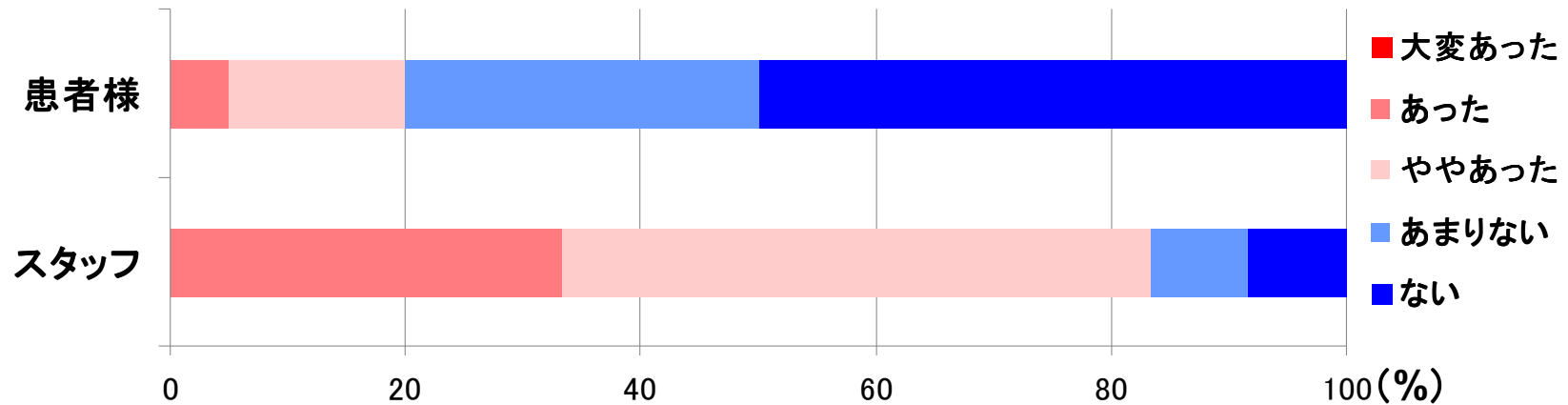


図6 on-line HDFに移行する前の不安感

### 不安な理由

#### 患者様

- ・ 水質について5% (1名)
- ・ 置換量が増えること5% (1名)
- ・ 体に影響がでるのではないかと10% (2名)

#### スタッフ

- ・ 手技が変わること60% (9名)
- ・ 知識不足27% (4名)
- ・ 患者様の体調の変化14% (2名)
- ・ その他24% (3名)



## 結果④ 移行後の治療に対する不安感

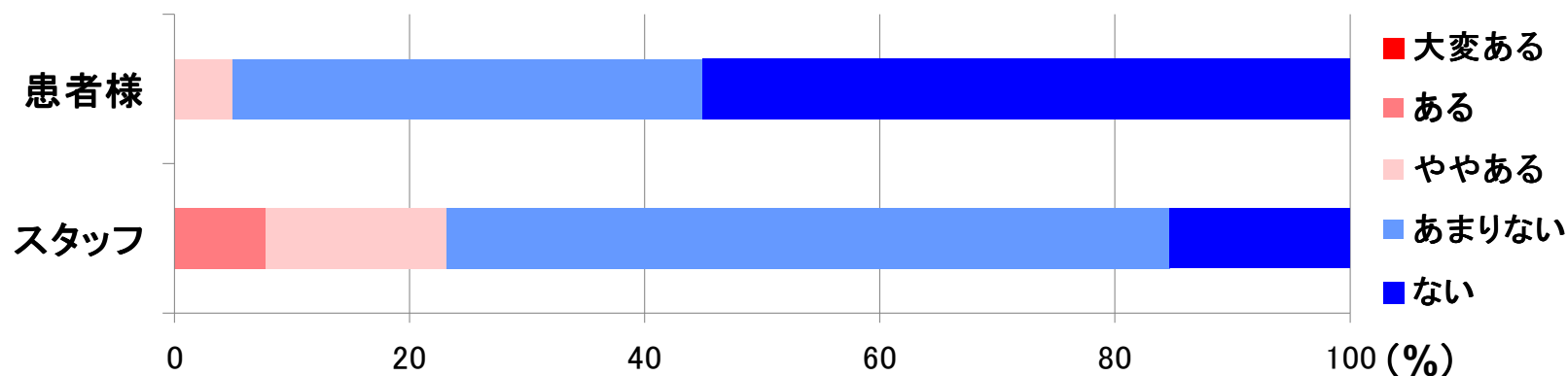


図7 on-line HDFに移行後(3ヶ月後)の不安感

### 不安な理由

#### 患者様

- ・ 水質に対して5%(1名)

#### スタッフ

- ・ 知識不足に対して15%(2名)
- ・ 水質に対して7%(1名)

### 不安が減少した理由

#### 患者様

- ・ 体に何も影響がなかった15%(2名)
- ・ スタッフの説明5%(1名)

#### スタッフ

- ・ 手技の慣れ60%(6名)
- ・ 水質に関するトラブルがなかった40%(4名)
- ・ その他40%(4名)



## 結果⑤ 患者様

**体調** : ○良くなった方30%

**体感** : ○警報回数の減少がある95%

○移行後、除水誤差の減少がある85%(以前除水誤差がある方)

○治療中、暖かくなった100%(以前寒さを感じていた方)

**思い** : ○移行前治療の対しての不安感はあまりない・ないという方80%

○不安感がない理由の内訳

1)他施設でon-line HDFが行われているから12.5%

2)本やネットで良い治療と知っていたから期待が大きかった12.5%

3)“スタッフが良いと教えてくれた”“お任せしています”75%

(当院で一番透析歴の長い39年の患者様は3)と回答された)

○移行後1名を除き不安は解消した

不安がある患者様は、治療を受けて良かったと回答

○情報入手方法がスタッフのみという方が55%

※多くの患者様から、良い治療だとは思いますが良く分からないという声があった。





## 結果⑥スタッフ

- 手技** : ○操作方法が簡略化された85%  
○準備が簡略化された93%  
○人為的ミスの減少がある100%  
○警報回数の減少がある93%  
○水質管理の手間や苦労がある97%
- 思い** : ○移行前に不安を抱えている人85%。移行後、23%  
○不安が減少した要因  
    1)大きな問題なく移行できたこと  
    2)手技の慣れ  
    3)水質管理を徹底したこと  
○移行後も自身の知識不足や他者の知識不足を感じて、不安を抱えているスタッフもいた。



# 結果・まとめ

## ■ 患者様

on-line HDFをもっと知りたいと不満はあるが、治療中の体感  
は良くなったと感じ、「病院のしてくれることだから安心してお任  
せしている」「体調に問題がなかった」等と不安なくon-line HDFを  
受け入れている。

## ■ スタッフ

知識不足を感じているが、手技の慣れ、準備・操作方法の簡  
略化、ミスの減少等から安心してon-line HDFに取り組んでいる。



## アンケートから学んだこと

今回アンケートを行い、患者様はon-line HDFを受け入れておられた事が分かった。その理由として、多くの患者様から「治療についてはよく知らないが、病院にお任せしているので不安はない。」という声を聞かせて頂いた。

透析療法黎明期から何十年と遠方より通い、私の年齢より遥かに長い透析人生を送られている方達が、「共に乗り越えてきた博愛クリニックのする事だから。」と状況の変化を気にされていなかった。そのような姿を見て、患者様は治療に対してデータや体調に関心を持たれているだけでなく、ここで人生を歩んできたという信頼感が心の内にあると気づかせて頂いた。

後輩の私達もその信頼を築く努力が大切であると学んだ。



黎明期



現在





# 反省・目標

## ■ 反省

患者様からどういう治療なのか詳しい説明が欲しいという声に応えることができなかった。

## ■ 目標

自身の知識を向上させること。それに伴い治療に対する不安は解消され自信を持って働くことができ、そのような姿を見せることで患者様により安心感を与えられ、得た知識を患者様それぞれにあった説明で還元できれば患者様の不満を解消できるのではないかと考える。

今回、改めて博愛クリニックと患者様が共に歩んできた長い歴史を感じることができた。この歴史を引き継ぐため自分もスタッフの一員として精進し努力していきたい。